三野家上之町朝日倶楽部に集合して今後の處置に就き協議の結果結局九日更に第三回實行委員を選出して正午までには工場側に對し最後の談判を開始する事と決定し各委員は七時頃思ひ〳〵に退散したが會社側にありては連日の怠業に莫大なる損害を受けた上猶職工は交渉落着まで怠業を續けるらしく斯くては更に損害の上に損害を重ねる事となるので遂に九日より三日間臨時休業をする事に決し職工一同に對して八日夕刻郵便を以て

神戸に氣勢を揚げ

藤永田造船所勞働爭議應援の爲めの神戸勞働者大會は友愛會、印刷工組合、神戸鐵工組合等各勞働團體聯合主催で八日午後七時から神戸市湊川勤業館にて開催された入場料二十錢を徴したにも拘らず會衆無慮一千名に達し中に婦人も混つて居た數名の勞働者及び特に來神せる藤永田の罷工職工熱辯を揮ふた後神戸聯合會長須々木純一氏座長席に着き印刷職工組合三谷幸吉氏宣言及び左の決議を朗讀した

閑の聲を上げて

船十時續にて對岸木津運河河岸に着くや非常警戒の警戒線第一第二第三を突破し旗を翻し革命歌を高唱し乍ら喚聲と共に隊伍を作し電車線に沿ふて練込むや千島町にて待ち構へ居たる本工場の

職工五百名

と會し長蛇の列を整へて進行し初めたので警察側はかねて非常召集してゐた約八百の警官をし二隊伍の秩序を亂さぬやうにしてゐる許りであ

會社との會見顛末を述べ[illegible]神戸友愛會支部長は警察署は勞働運動を暴動視するかとて大聲叱呼し今回の件に對する泉尾署の

措置を難じ

最後に松岡友愛會理事は今回の爭議に對する嚴正なる批判を試み聽集はこれに和し午後十時極めて秩序正しく緊張裡に無事閉會したが何分職工五千に警官一千といふ大衆團とて喧々囂々一時はどうなり行くかと危まれた

最初の要求條件に

二三の字句を修正

實行委員は追つて返辭をと辭去

要求、回答、調停――而して又要求、回答と日を重ね交渉を經ても未だ解決を告ぐるに到らざる藤永田造船所の會社に對する職工側の

要求條件に

つき一昨日、第二實行委員が、最初の要求條件に二三字句の修正を加へて提出したるは既報の如くなるが、會社側は昨八日午後一時新炭屋町の本工場に於て交渉委員村田季松氏外七名を招き左記の如き

回答を與へ

たりその內容は最初より

餘程讓歩

せるものなるが、交渉委員は即座に承諾し難し

追つて相當の挨拶

をなすべしとて辭去せり而して、本工場、敷津分工場及び第三工場の職工は相變らず罷業を繼續しつゝ回答如何

を待ちつゝありたるが

この回答を

得て、賛否區々にして未だ何れとも決定てずといふ、右につき本橋總務課長は語る「約束の如く回答はしたけれども實行委員は即答し難いが追つて協議の上お返事をいたしますと云つて去つた

一体今度の

第三實行委員といふのは、全職工から公平に選擧された

眞に實權を持つた委員で、

頗る善良なる分子許りであるから今日の回答に對しては即座にも承諾はしたかつたらしいが

何分黑幕に

何か糸を繰つてゐるものがあるらしいから追つてお返事をすると云つたものらしいメ云々

[illegible]の限り二回以内の範圍に於て二圓を限度とし相當補給の方法を取る可し

七定期昇給の件は毎年一回九月に於て詮衡の上昇給せしむ

但し特別のものは臨時選拔昇給を行ふ事ある可し

八殘業歩增の件は舊に復す

九職工往復配船の件は改善の方法をとる事とす

十今回の件に就き犧牲者を出さざる事を承認す

但其行動常軌を逸せるものは此の限にあらず